

新仮設覆屋の現状

1：概要

平成17年5月11日開催の第3回国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会において、緊急保存対策の一環として、新仮設覆屋の建設案が了承された。

これを受けて、墳丘冷却工事との工期の調整を図りつつ、8月8日から既存の発掘調査用仮設覆屋（旧覆屋）を解体し、8月22日から新覆屋の建設に着手した。

新覆屋は下記の工程を経て、1ヶ月後の9月22日に完成した。

完成後は、月に一度の定期点検を実施し、建物の保全に努めている。

2：建設工程

平成17年8月8日～	発掘調査用旧仮設覆屋の屋根の撤去
8月10日	旧覆屋壁面シートの撤去
8月11日～	旧覆屋骨組みの解体（25tクレーンを使用）
8月22日～	新覆屋の基礎工事開始。足場となる鉄板の敷設
8月24日～	新覆屋壁体の組み上げ
8月25日	新覆屋建設現場のマスコミ公開
9月8日～	屋根材（パラソレックス）の構架
9月14日	カウンターウェイトの設置（計15カ所）
9月15日～	覆屋外側北～西周りに排水用U字溝を設置
9月17日～	壁面のメッシュシート張り
9月22日	新覆屋完成。マスコミ公開



完成した新覆屋